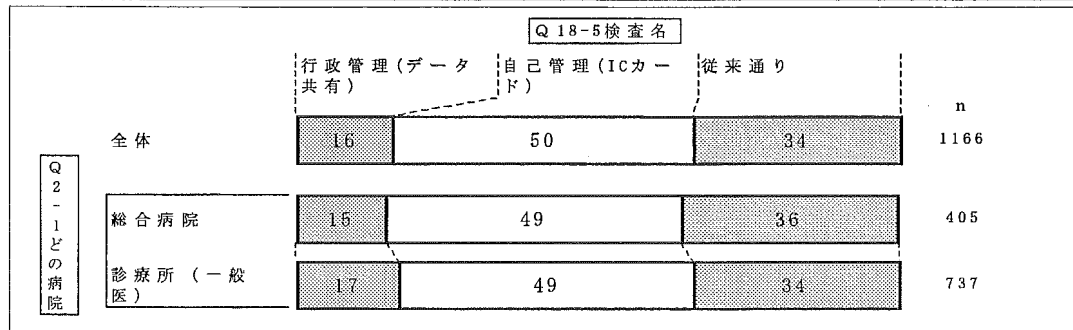


問 2-1 「病院タイプ」と問 18-5 「検査名の情報管理方法」のクロス集計分析
 質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように検査名の情報を管理したいですか」

		合計	Q 18-5検査名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	186 16.3	563 49.3	394 34.5	23
Q 2 病 院	総合病院	405 100.0	59 14.8	196 49.2	143 35.9	7
	診療所（一般医）	737 100.0	120 16.6	357 49.4	246 34.0	14



<考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間には大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 15%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、検査名の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

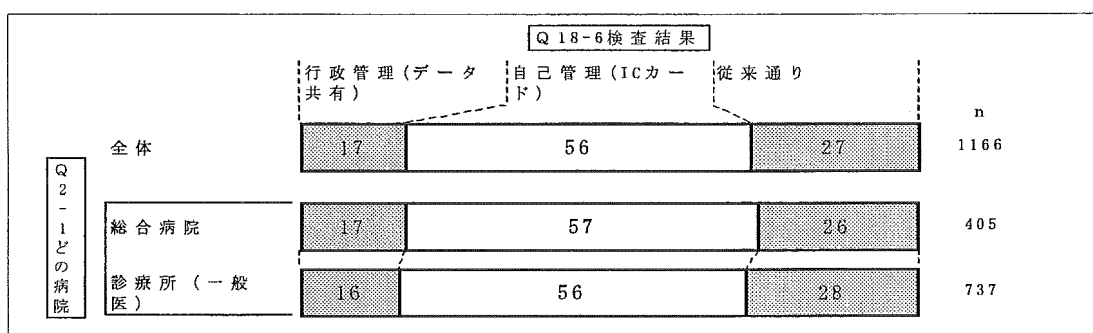
問 2-1「病院タイプ」と問 18-6「検査結果の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように検査結果の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-6検査結果				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	189 16.5	645 56.4	310 27.1	22	
Q 2-1 どの 病院	総合病院	405 100.0	67 16.8	227 56.9	105 26.3	6
	診療所（一般医）	737 100.0	115 15.9	407 56.3	201 27.8	14



<考察>

全体の約 55%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間には大きな違いが見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 15%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、検査結果の情報は他の自分の医療情報に比べて直接自分の病状を示すものであるため、情報漏洩への不安感が強いと思われる。

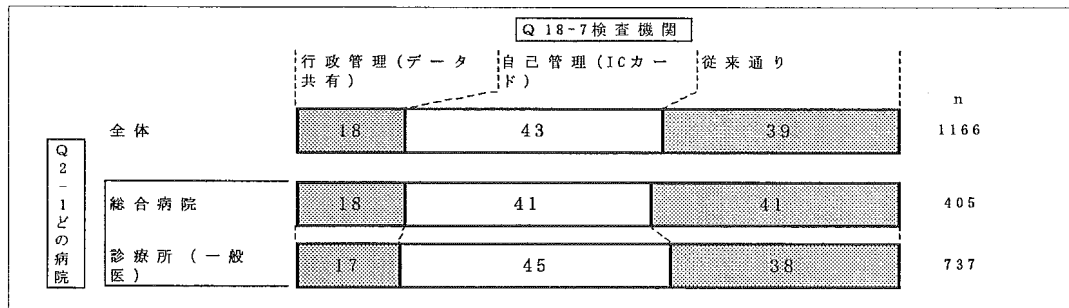
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 18-7 「検査機関の情報管理方法」のクロス集計分析
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように検査機関の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-7 検査機関				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28	
Q 2 どの 病院 1	総合病院	405 100.0	71 17.9	163 41.1	163 41.1	8
	診療所 (一般医)	737 100.0	126 17.5	319 44.2	276 38.3	16



<考察>

全体の約 45%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、検査機関の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

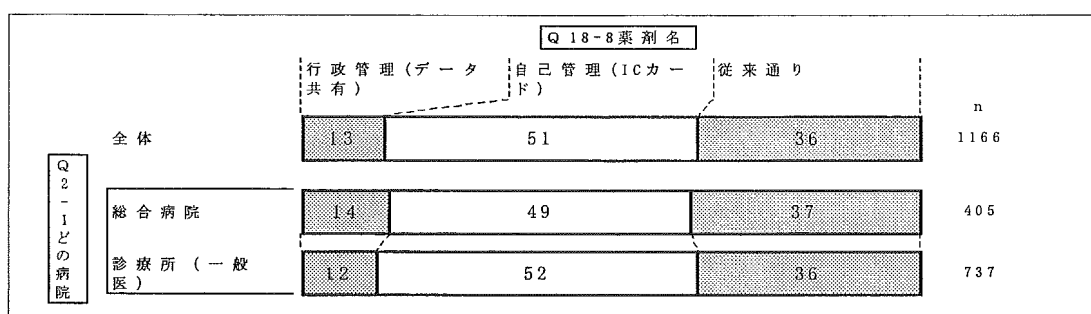
問 2-1「病院タイプ」と問 18-8「薬剤名の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように薬剤名の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-8 薬剤名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25	
Q 2-1 どの 病院	総合病院	405 100.0	56 14.1	196 49.2	146 36.7	7
	診療所（一般医）	737 100.0	88 12.2	373 51.7	260 36.1	16



<考察>

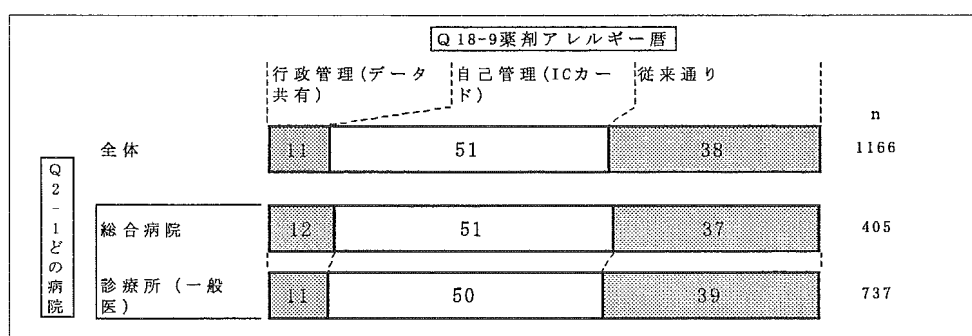
全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少なく、総合病院の方が自己管理を希望している患者が多情少ないことからもうかがえる。この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 15%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、薬剤名の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いはないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 18-9 「薬剤アレルギー歴の情報管理方法」のクロス集計分析
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように薬剤アレルギー歴の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-9 薬剤アレルギー歴				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	129 11.3	577 50.7	433 38.0	27	
Q 2-1 どの 病院	総合病院	405 100.0	47 11.8	203 51.1	147 37.0	8
	診療所（一般医）	737 100.0	77 10.7	366 50.8	278 38.6	16



<考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間には大きな違いが見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

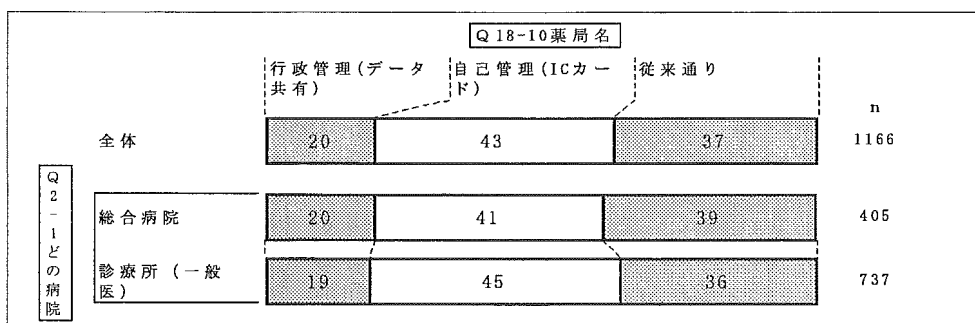
この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 10%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、薬剤アレルギー歴の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 18-10 「薬局名の情報管理方法」のクロス集計分析
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように薬局名の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-10 薬局名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	222 19.5	492 43.3	422 37.1	30	
Q 2-1 どの病院	総合病院	405 100.0	79 20.0	161 40.8	155 39.2	10
	診療所 (一般医)	737 100.0	136 18.9	321 44.6	262 36.4	18



<考察>

全体の約 45%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、薬局名の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

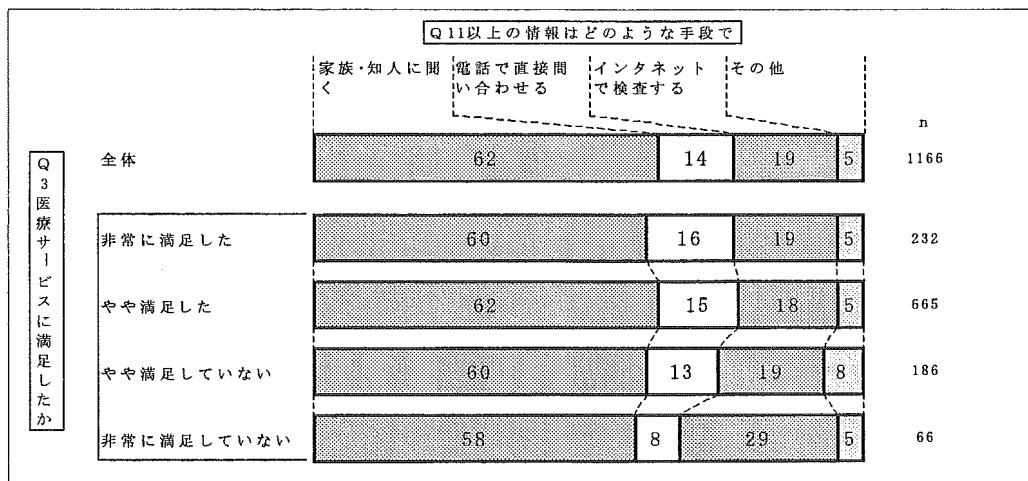
問3「満足」と問11「情報の入手方法」とのクロス集計分析

質問方法：

「以上のような情報をあなたは今までに主にどのような手段で手に入れていますか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q11以上の情報はどのような手段で				不明	
		家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他		
全体	1166 100.0	706 61.0	165 14.3	223 19.3	63 5.4	9	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	142 61.2	36 15.5	43 18.5	11 4.7	0
	やや満足した	665 100.0	410 62.2	98 14.9	117 17.8	34 5.2	6
	やや満足していない	186 100.0	112 60.2	24 12.9	36 19.4	14 7.5	0
	非常に満足していない	66 100.0	38 58.5	5 7.7	19 29.2	3 4.6	1



<考察>

全体の六割の人が直接自分で調べるのではなく、家族や知人から病院に関する情報入手している。また、電話で直接問い合わせる人よりもインターネットで検索している人の方が多いことがわかる。これはIT化・インターネットの普及が関係していると考えられ、病院のホームページの整備などが重要になっていると考えられる。

非常に満足していない人の回答に注目してみると、他の回答をしている人に比べて電話で直接問い合わせしている人の割合が特に低いことがわかる。このことより、満足していない理由の一つとして、病院の対応の悪さが指摘できると考えられる。

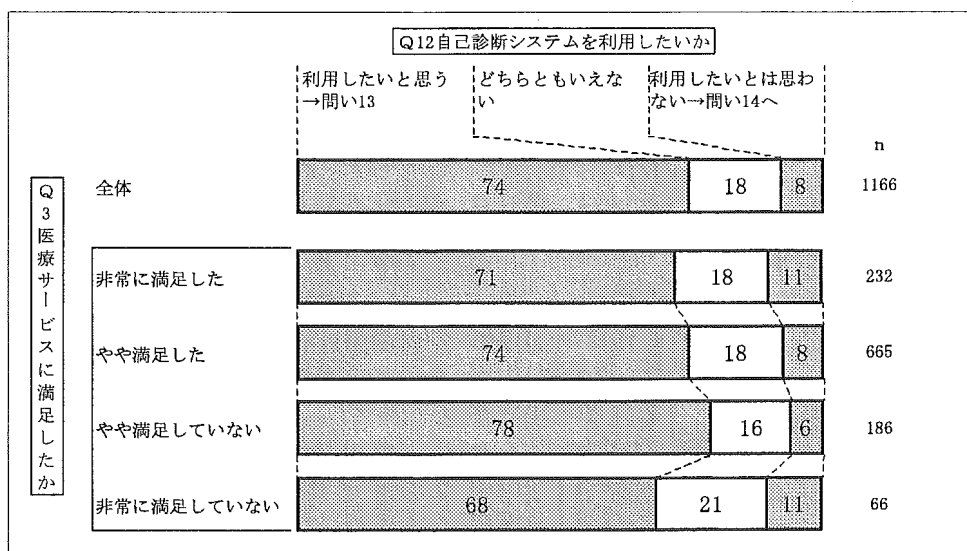
問 3「満足」と問 12「自己診断システムの利用」のクロス集計分析

質問方法：

「インターネット上で公的な期間が提供する、ある程度の病状を「自己判断できる仕組み」を利用したいと思いますか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q 12 自己診断システムを利用したい			不明
			利用したいと思う → 問い 13	どちらともいえない	利用したいとは思わない → 問い 14へ	
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
Q 3 医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	165 71.1	41 17.7	26 11.2	0
	やや満足した	665 100.0	493 74.5	119 18.0	50 7.6	3
	やや満足していない	186 100.0	145 78.0	29 15.6	12 6.5	0
	非常に満足していない	66 100.0	45 68.2	14 21.2	7 10.6	0



<考察>

医療サービスの満足・不満足に関係なく全体の 7 割の人が自己診断システムを利用したいと思っているようである。

「利用したいとは思わない」注目してみると、「非常に満足している」人と「非常に満足していない」人の回答が 10%を超えていることがわかる。満足している人にとっては病院を信用しているから自己診断システムは利用しないことはある程度予想できる。満足していない人にとっては、病院・医師に対する期待の現われではないだろうかと考えられる。

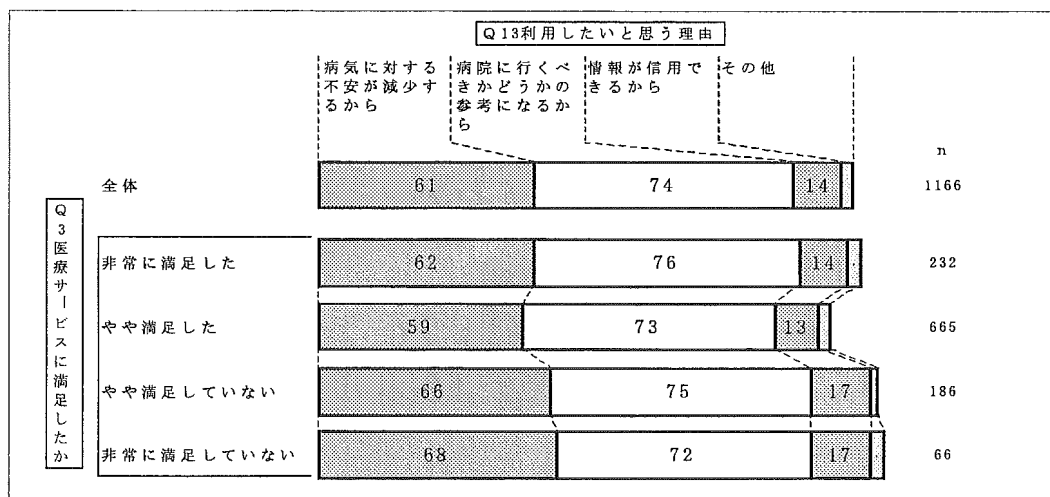
問3「満足」と問1「利用したいと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「利用したい、と思う理由は何ですか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q13利用したいと思う理由					不明	非該当
		病気に対する不安が減少するから	病院に行くべきかどうかの参考になるから	情報が信用できるから	その他			
全体	1166 100.0	533 60.9	647 73.9	120 13.7	26 3.0	0	291	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	104 62.3	127 76.0	23 13.8	6 3.6	0	65
	やや満足した	665 100.0	295 58.8	368 73.3	64 12.7	15 3.0	0	163
	やや満足していない	186 100.0	97 65.5	111 75.0	25 16.9	3 2.0	0	38
	非常に満足していない	66 100.0	32 68.1	34 72.3	8 17.0	2 4.3	0	19



<考察>

医療サービスの満足・不満足に限らず、全体的に「病院に行くべきかの参考になる」と「病気に対する不安が減少するから」という回答が多い。このことから患者は少なからず病気に対しては不安を持っており、病院に行くべきか判断材料を欲していると考えられる。また、「情報が信用できるから」という項目に注目してみると、満足していない人達の回答率が比較的に高い。原因の一つとして、満足していない人達が病院を信頼しきれていないことが考えられる。

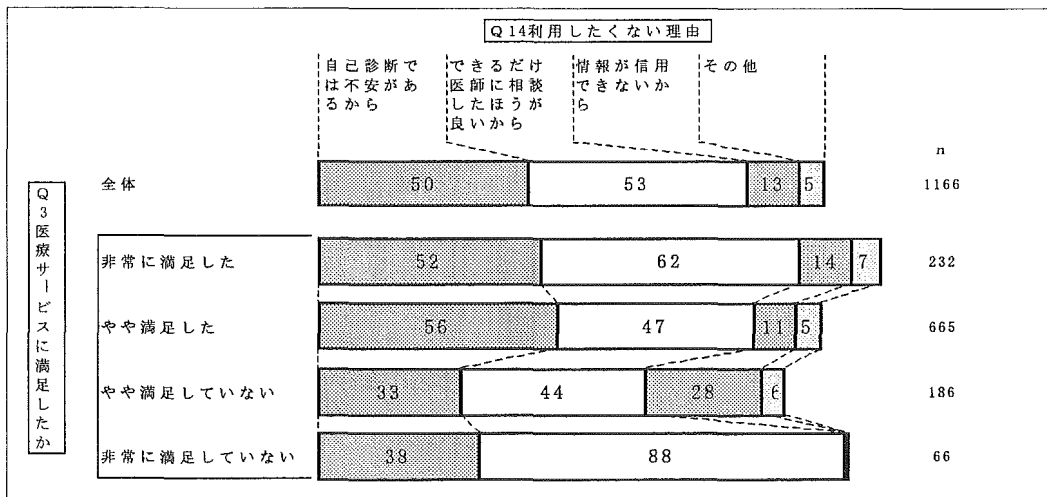
問3「満足」と問14「利用したくない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「利用したくない、と思う理由は何ですか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q14利用したくない理由				不明	
		自己診断 では不安 があるか ら	できるだ け医師に 相談した ほうが良 いから	情報が信 用できな いから	その他		
全体	1166 100.0	63 50.4	66 52.8	16 12.8	6 4.8	0	
Q3に 満足 した か	非常に満足した	232 100.0	15 51.7	18 62.1	4 13.8	2 6.9	0
	やや満足した	665 100.0	37 56.1	31 47.0	7 10.6	3 4.5	0
	やや満足していな い	186 100.0	6 33.3	8 44.4	5 27.8	1 5.6	0
	非常に満足してい ない	66 100.0	3 37.5	7 87.5	0 0.0	0 0.0	0



<考察>

満足している人達は、病院を信用していることもあり、「自己診断だけでは不安があるから」という回答が多い。

「できるだけ医師に相談した方がよい」という質問に注目してみると、非常に満足していない人達の回答の中で割合が極めて多いことがわかる。これは、満足していない人達も病気になれば不安であり、その不安を取り除くには、やはり医師による診察が一番望ましいと考えているのではないだろうか。

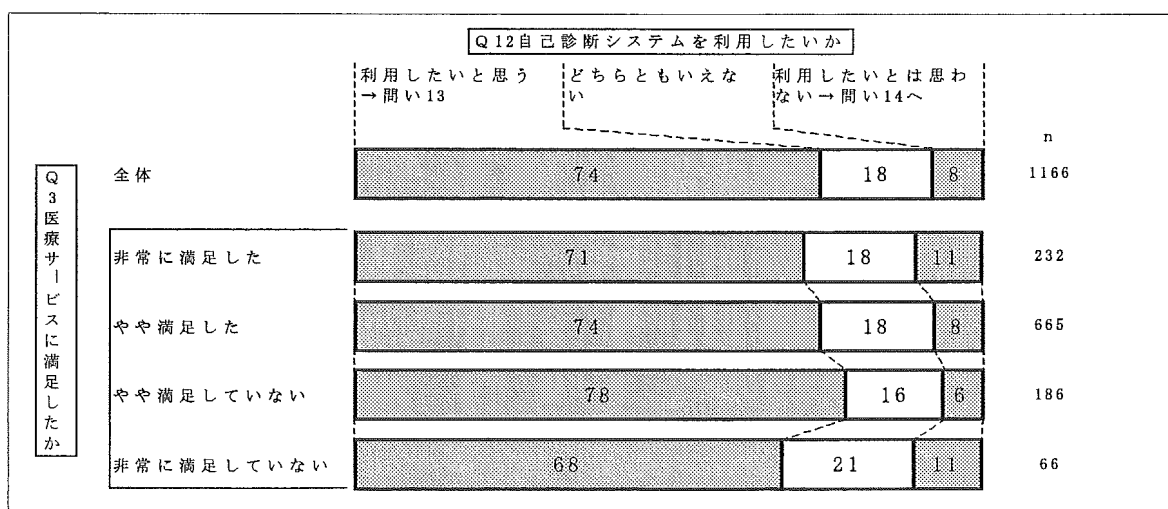
問3「満足」と問15「ICカードを保険証代わり」のクロス集計分析

質問方法：

「ICカードに保険証の機能を組み込むことについて、どう思いますか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q15ICカードを保険代わり		
			賛成→問 い17	反対→問 い16へ	不明
全体		1166 100.0	750 64.7	410 35.3	6
Q3 医療 サー ビス に 満 足 し た か	非常に満足した	232 100.0	159 68.8	72 31.2	1
	やや満足した	665 100.0	433 65.4	229 34.6	3
	やや満足していない	186 100.0	111 59.7	75 40.3	0
	非常に満足していない	66 100.0	40 60.6	26 39.4	0



<考察>

医療サービスに満足している・満足していないに関係なく全体的に6割はICカードを保険証の代わりに使用することに賛成している。

しかし、反対している人は、満足している人で3割満足していない人で4割いることも事実である。これは、カードにすることで持ち運びが容易になる一方で紛失の可能性も高くなることに対する不安の表れようではないだろうか。

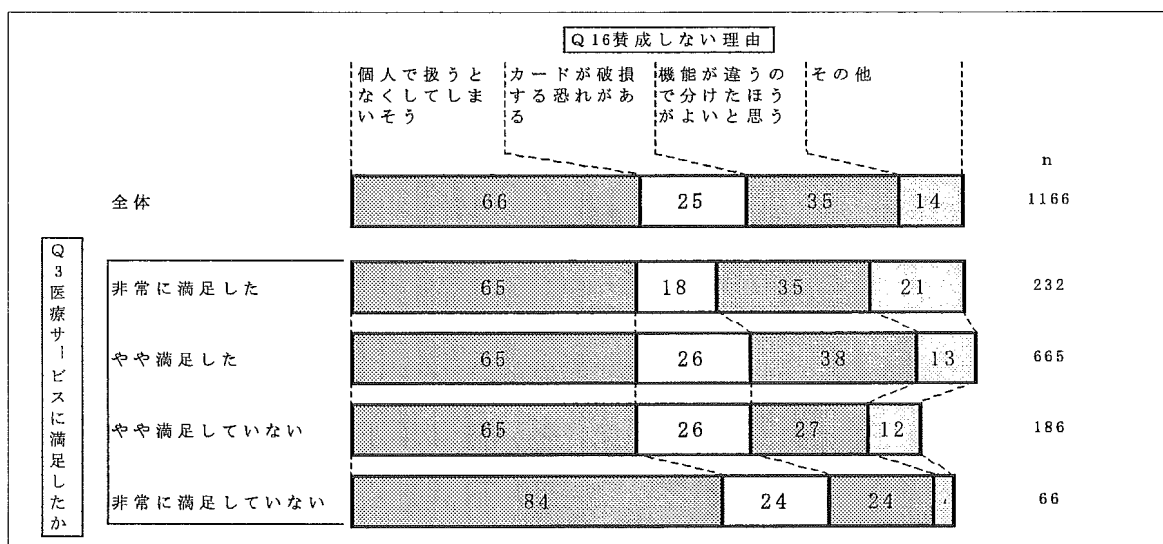
問3「満足」と問16「賛成しない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「賛成しない理由は何ですか」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q16賛成しない理由					不明	非該当
		個人で扱 うとなく してしま いそう	カードが 破損する 恐れがあ る	機能が違 うので分 けたほう がよいと	その他			
全体	1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758	
Q3に 満足 した か 医療 サー ビス	非常に満足した	232 100.0	47 65.3	13 18.1	25 34.7	15 20.8	0	160
	やや満足した	665 100.0	149 65.4	60 26.3	87 38.2	30 13.2	0	437
	やや満足していない	186 100.0	48 64.9	19 25.7	20 27.0	9 12.2	0	112
	非常に満足していない	66 100.0	21 84.0	6 24.0	6 24.0	1 4.0	0	41



<考察>

全体的にいえるのが、ICカードに賛成していない人の多くが、ICカードの紛失・破損に対して不安を持っているようである。

「個人で扱うとなくしてしまいそう」という質問に注目してみると、非常に満足していない人の中で占める割合が高いことがわかる。ICカードに含む機能を、ICカードでは個人で管理できないので病院側で管理できないかという、医療サービスの向上に関するヒントになるのではないだろうか。

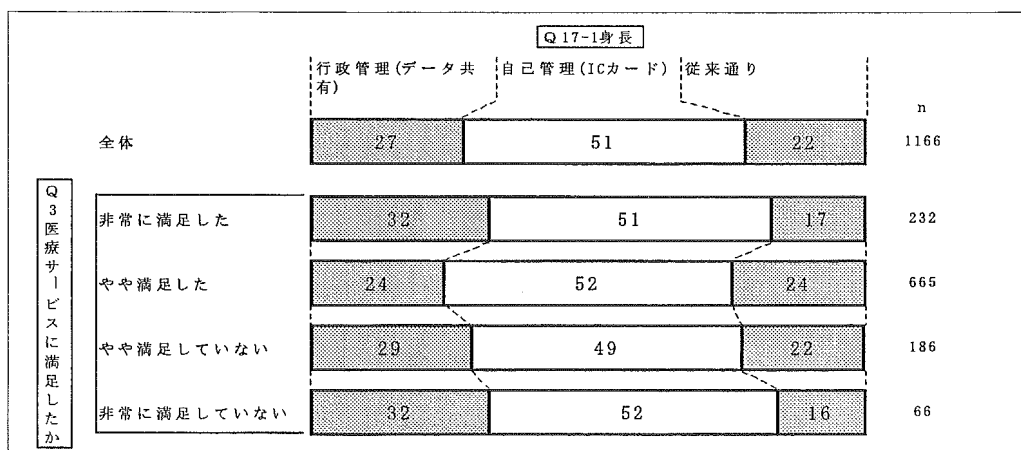
問3「満足」と問17-1「身長」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー身長については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-1身長				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	272 26.9	518 51.3	220 21.8	156	
Q3に満足した医療サービスか	非常に満足した	232 100.0	65 31.6	105 51.0	36 17.5	26
	やや満足した	665 100.0	141 24.2	301 51.7	140 24.1	83
	やや満足していない	186 100.0	45 29.4	75 49.0	33 21.6	33
	非常に満足していない	66 100.0	18 32.1	29 51.8	9 16.1	10



<考察>

「身長」に関する管理の方法としては、全体の5割の人が自己管理（ICカード）がよいと思っている。また、従来通りの方法と行政管理（データ共有）を比べてみると、満足している・満足していないに関わらず、行政管理の方が高いことがわかる。そして、自己管理・行政管理の両方をあわせると、現状の医療サービスに満足している・満足していない人に限らず全体の8割を占めていることがわかる。このことから、身長に関する管理する方法に関しては、自己管理・行政管理ともに導入にあたっては何らかのデメリットもあるが、これらのシステムの導入による医療サービスの向上が望まれていることがわかる。

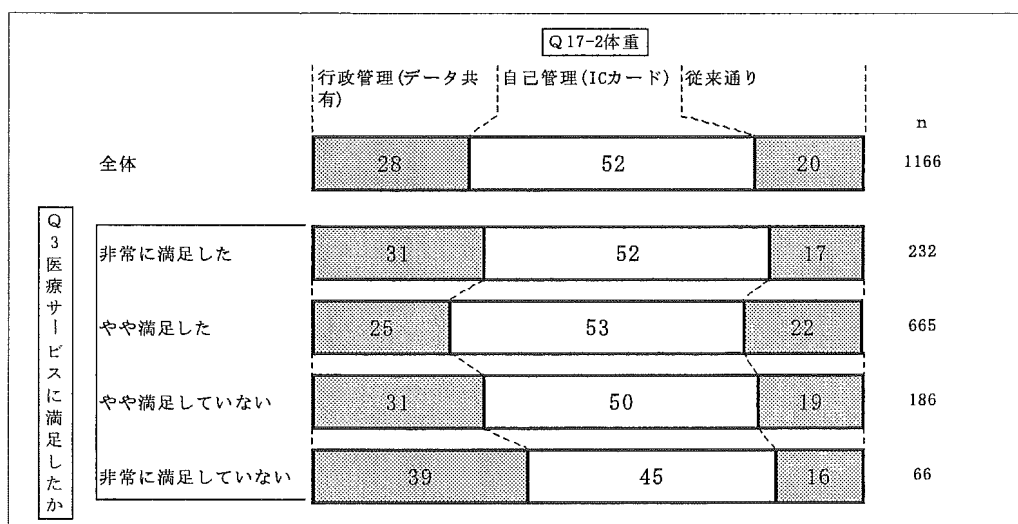
問3「満足」と問17-2「体重」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。一体重については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q17-2体重			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	278	529	200	159
		100.0	27.6	52.5	19.9	
Q3 医療 サー ビス に 満 足 し た か	非常に満足した	232	64	106	36	26
		100.0	31.1	51.5	17.5	
	やや満足した	665	142	311	125	87
		100.0	24.6	53.8	21.6	
	やや満足していない	186	47	77	29	33
		100.0	30.7	50.3	19.0	
	非常に満足していない	66	22	26	9	9
		100.0	38.6	45.6	15.8	



<考察>

「体重」に関する管理の方法としては、全体の5割の人が自己管理がよいと思っている。また、従来通りの方法と行政管理を比べてみると、満足している・満足していないに関わらず、行政管理の方が高いことがわかる。そして、自己管理・行政管理の両方をあわせると、「身長」と同様に、現状の医療サービスに満足している・満足していない人に限らず全体の8割を占めていることがわかる。このことから、体重に関する管理の方法としては、自己管理・行政管理ともに導入にあたっては何らかのデメリットもあるが、これらのシステムの導入による医療サービスの向上が望まれていることがわかる。

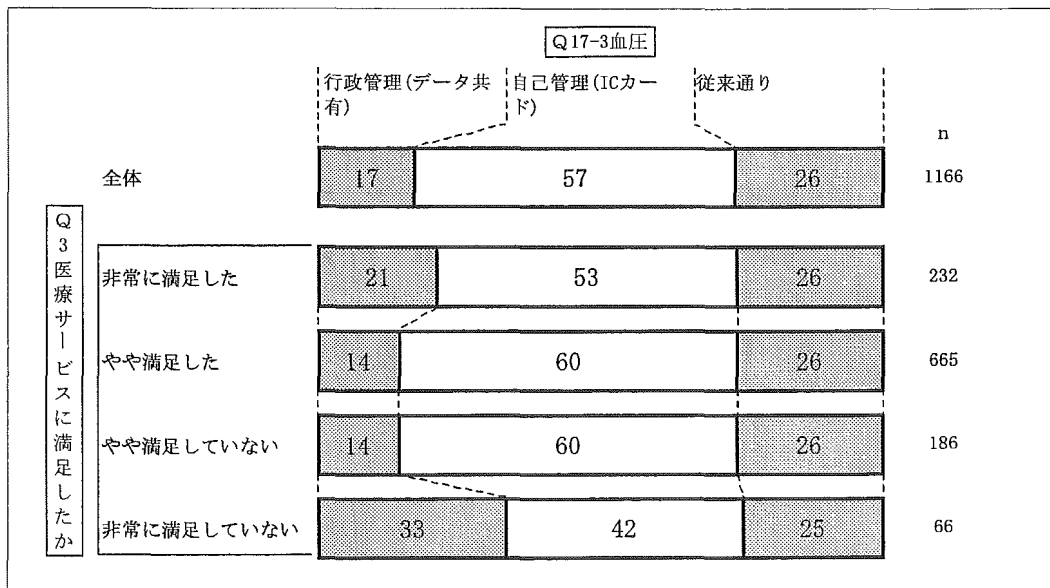
問3「満足」と問17-3「血圧」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。－血圧については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-3血圧				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	168 16.6	577 57.1	265 26.2	156	
Q3 医療 サービス に 満足 した か	非常に満足した	232 100.0	43 20.9	110 53.4	53 25.7	26
	やや満足した	665 100.0	83 14.3	347 59.7	151 26.0	84
	やや満足していない	186 100.0	21 13.7	92 60.1	40 26.1	33
	非常に満足していない	66 100.0	19 33.3	24 42.1	14 24.6	9



<考察>

「血圧」に関してもやはり自己管理による情報管理が全体的には高い。しかし、ここで「体重」や「身長」と違うのが、非常に満足していない人にとっては行政管理を望んでいる人が多いということ、全体的に従来どおりでいいという人の割合がやや高くなっているということである。非常に満足していない人にとっては、個人データを行政管理することが医療サービス向上に繋がると考えられる。

しかし全体を見ていると、この項目に関しては、自己管理するかもしくは従来どおりでよい、つまりデータを共有する必要性は少ないと考えられる。

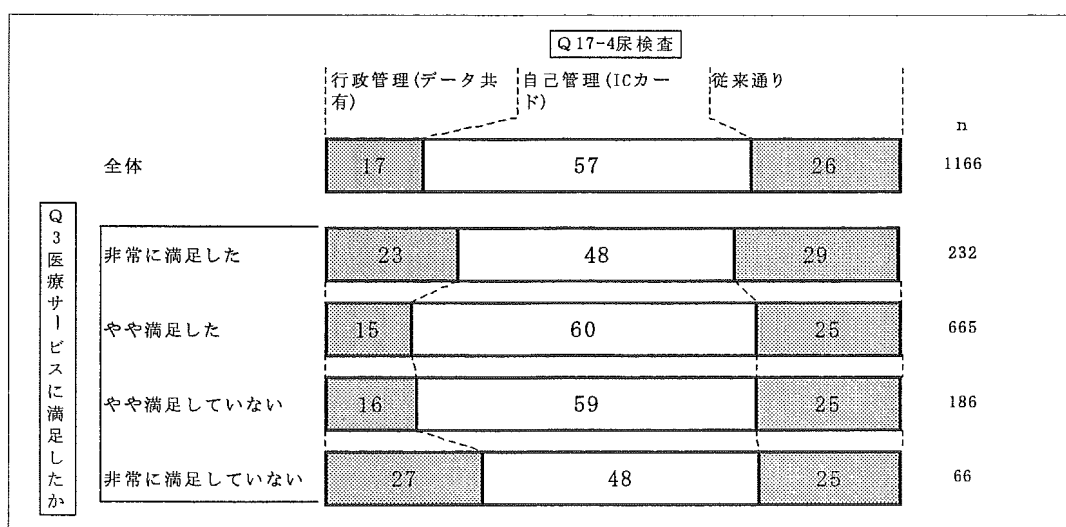
問3「満足」と問17-4「尿検査」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー尿検査については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-4尿検査				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	174 17.3	573 56.9	260 25.8	159	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	47 22.8	100 48.5	59 28.6	26
	やや満足した	665 100.0	87 15.0	349 60.2	144 24.8	85
	やや満足していない	186 100.0	24 15.7	91 59.5	38 24.8	33
	非常に満足していない	66 100.0	15 26.8	27 48.2	14 25.0	10



<考察>

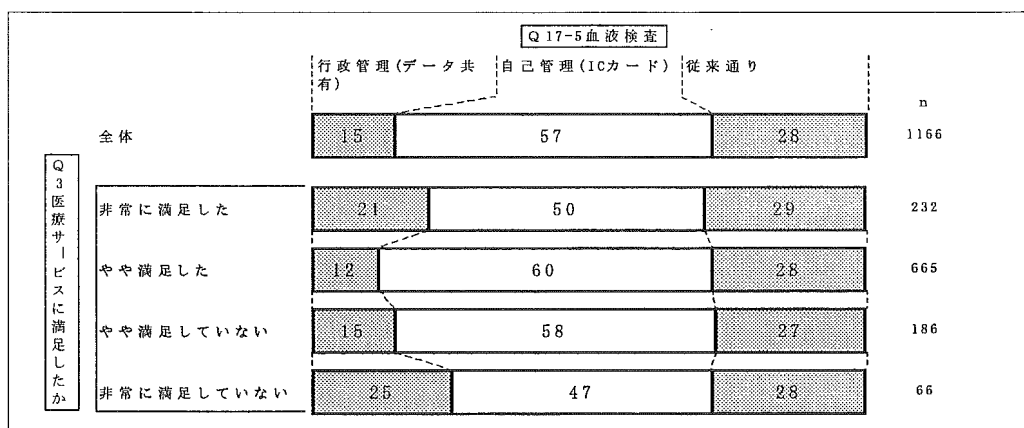
「尿検査」に関してもやはり自己管理による情報管理が全体的には高い。この項目に関しても「血圧」と同様、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。この原因の一つとして、共有化による情報の漏えいの不安が大きく関係しているのではないかと考えられる。患者はプライバシー性の高い情報の共有化は望んでいないことが伺える。

問3「満足」と問17-5「血液検査」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー血液検査については」
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-5血液検査				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	150 14.9	571 56.7	286 28.4	159	
Q3に満足したか医療サービス	非常に満足した	232 100.0	44 21.5	102 49.8	59 28.8	27
	やや満足した	665 100.0	68 11.7	350 60.3	162 27.9	85
	やや満足していない	186 100.0	23 15.0	88 57.5	42 27.5	33
	非常に満足していない	66 100.0	14 24.6	27 47.4	16 28.1	9



<考察>

「血液検査」に関してもやはり自己管理による情報管理が全体的には高い。この項目に関しては、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。「血圧」や「尿検査」と同様に、共有化による情報の漏えいの不安が大きく関係しているのではないかと考えられる。患者はプライバシー性の高い情報の共有化は望んでいないことが伺える。

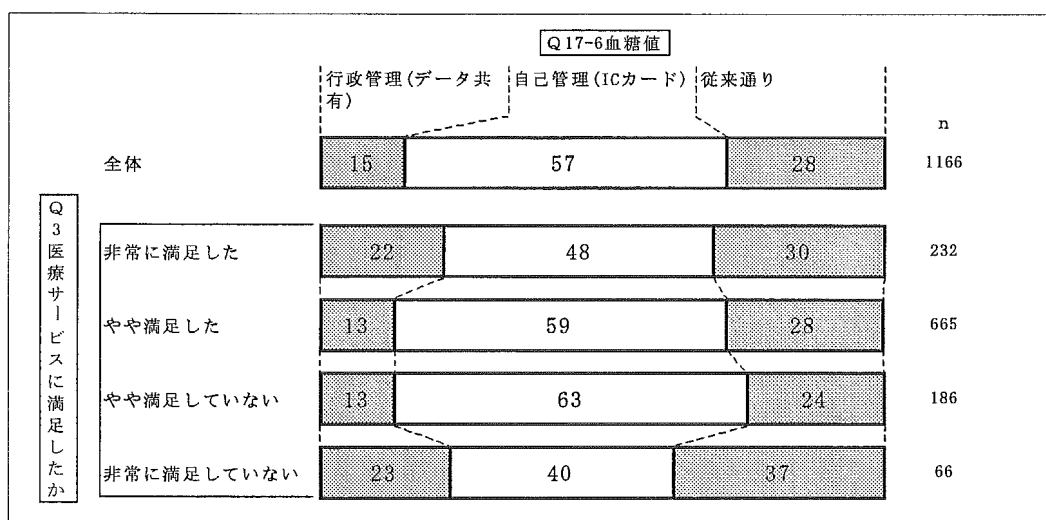
問3「満足」と問17-6「血糖値」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー血糖値については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-6血糖値				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	153 15.2	569 56.4	287 28.4	157	
Q3医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	46 22.3	99 48.1	61 29.6	26
	やや満足した	665 100.0	73 12.6	346 59.6	162 27.9	84
	やや満足していない	186 100.0	20 13.1	97 63.4	36 23.5	33
	非常に満足していない	66 100.0	13 22.8	23 40.4	21 36.8	9



<考察>

「血糖値」に関してもやはり自己管理による情報管理が全体的には高い。この項目に関しては、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。「血圧」などと同様に、共有化による情報の漏えいの不安が大きく関係しているのではないかと考えられる。患者はプライバシー性の高い情報の共有化は望んでいないことが伺える。

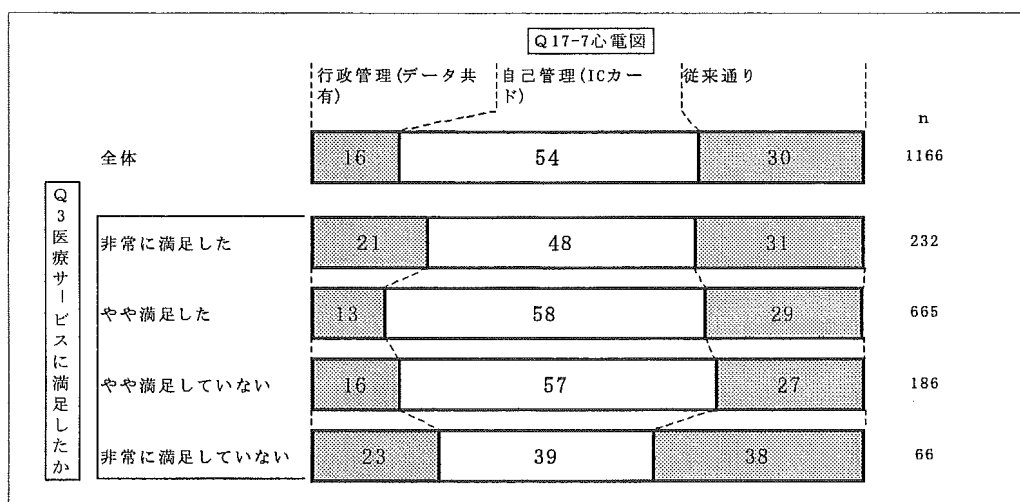
問3「満足」と問17-7「心電図」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。心電図については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-7心電図				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	158 15.7	544 54.0	305 30.3	159	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	43 20.9	99 48.1	64 31.1	26
	やや満足した	665 100.0	76 13.1	333 57.4	171 29.5	85
	やや満足していない	186 100.0	25 16.3	86 56.2	42 27.5	33
	非常に満足していない	66 100.0	13 23.2	22 39.3	21 37.5	10



<考察>

「心電図」に関しても、全体ではやはり自己管理による情報管理が高い。この項目に関しては、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。「血圧」などと同様に、共有化による情報の漏えいの不安が大きく関係しているのではないかと考えられる。患者はプライバシー性の高い情報の共有化は望んでいないことが伺える。

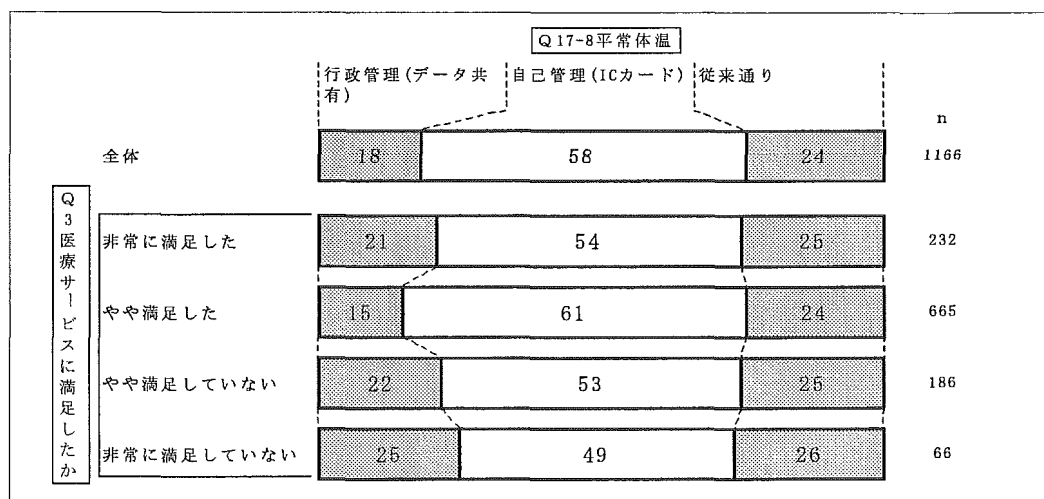
問3「満足」と問17-8「平常体温」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー平常体温については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-8平常体温				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	183 18.1	580 57.5	246 24.4	157	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	44 21.4	111 53.9	51 24.8	26
	やや満足した	665 100.0	89 15.3	352 60.6	140 24.1	84
	やや満足していない	186 100.0	33 21.6	82 53.6	38 24.8	33
	非常に満足していない	66 100.0	14 24.6	28 49.1	15 26.3	9



<考察>

「平常体温」に関しても、全体ではやはり自己管理による情報管理が高い。この項目に関しても、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、どちらかといえば、情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。

また、他の項目に比べ、満足している・満足していないによるばらつきが少ないようである。